

2009年

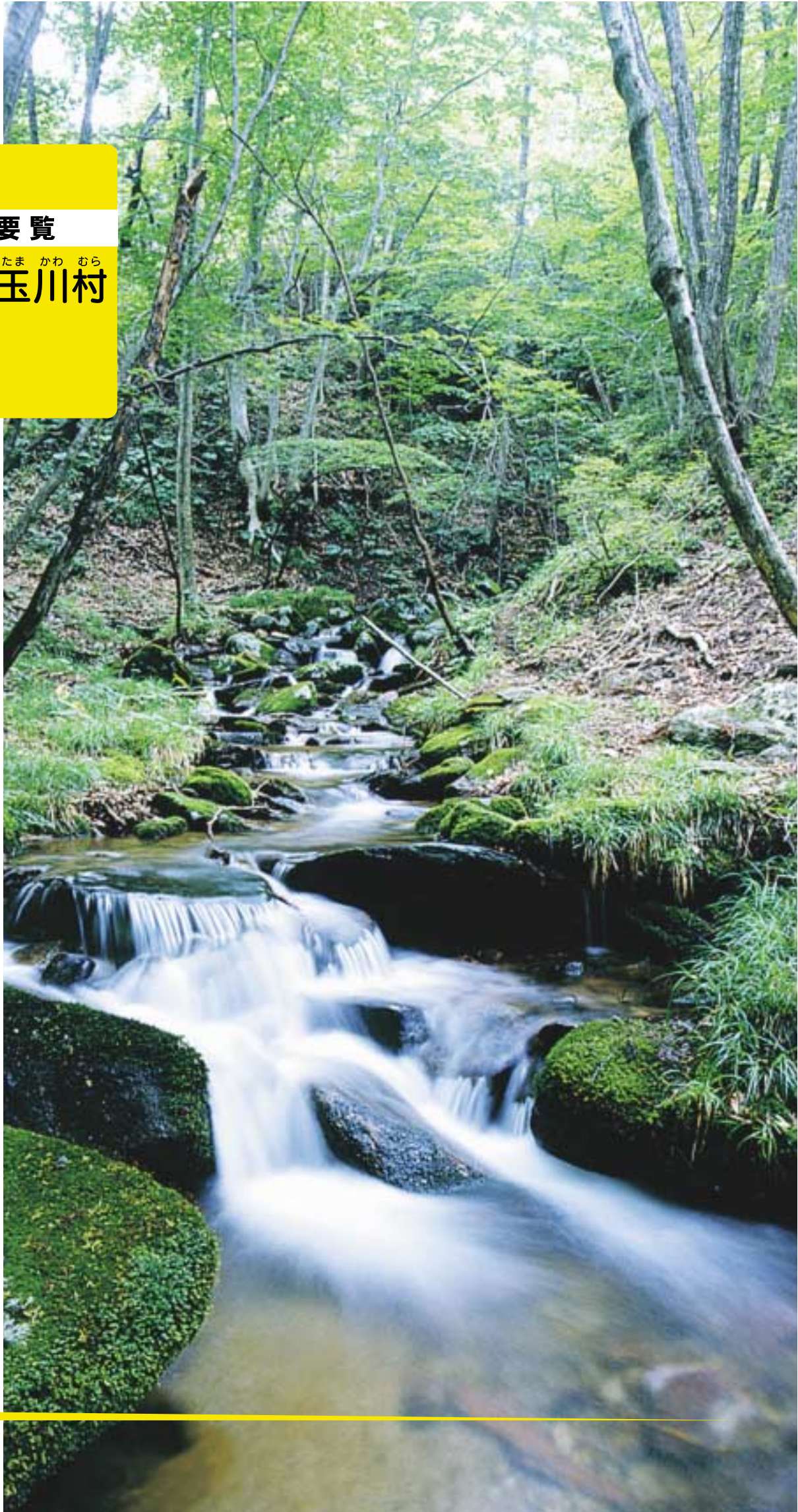
村勢要覧

ふくしま けん たまかわ むら

福島県玉川村

未来<sup>あす</sup>へつながる村づくり

”元気な“ たまかわ





## 「若い人が住みたくなる村づくり」

福島県の阿武隈山系の中南部地域に位置する玉川村は、豊かな自然環境と由緒ある文化財、そして国際定期路線を持つ福島空港を有する福島県の空の玄関口でもあり、都市近郊という立地条件や交通の利便性にも恵まれて、活力のみなぎる“人・物・情報の交流基地”として新たな前進をしてきたところがあります。

今日の社会環境は、少子・高齢化や高度情報化、地球温暖化などの急速な社会情勢の変化と、国や地方を取り巻く財政・経済の厳しい状況にあります。

こうした時代を背景に、村民のみなさまとともに“知恵を出し、汗を流し”創意工夫による行政推進を図り“未来へつながる元気な村づくり”を進め、若い人が玉川村に住んでみたい、住みたいと思う村づくりに努めているところであります。

この要覧は、玉川の今を広く知っていただくために、西暦2009年版として発行いたしました。ぜひ、有効にご活用いただき、多くの方に玉川村についてのご理解を深めていただければ幸いです。



玉川村長 石森 春男



# 春



岩法寺山に咲くこぶし

そよぐ風が新たな希望と期待  
をはこぶ春。人々の心は生気  
みなぎり、草木の芽が「張る」  
などにも由来する清々しい季  
節だ。雲雀がさえずり、こぶ  
しの花開き、辺りはやわらか  
な薄黄緑色になる。あたたか  
く素朴な自然が豊かな人情味  
あふれる玉川の人と風土を培  
ってきたのだろうか。





春の気配を感じさせる東風が吹き  
池や沢の水が、ゆっくりととけはじめ  
百花繚乱の世界へと導く。

